

# ☆ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

214号

2019年7月30日



常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 講演会とシンポジウム

7月19日(金)大井町の「きゅりあん」で、航空評論家杉江弘さんの講演があり、その後市民の立場でのシンポジウムがありました。

元日航パイロットで、着陸時の安全体制の考案者である杉江さんの指摘は一つ一つもつとでも、信頼に足る講演内容でした。

細かいことは言い尽くせませんが、こんな無謀な計画でなくても、充分増便の目的を達せる工夫がいくらでもあるということです。上層部に専門的知識がないことも一因だそうです。

#### ・ 板橋区は“魔の11分”内

板橋区では、今は赤羽方面から西へ向かって1800m以上で飛んでいます、それでさえうるさく、嫌な感じなのに、新航空路では1200mに下がり、1時間に30便も頭上を通過することになる大変化が起きるのです。様々な危険が増すのは当然です。「出発時の3分着陸時の8分」が事故発生多発時間帯で「魔の11分」と言いますが、飛行機は速いので、板橋区は充分魔の時間帯に入ってしまうでしょう。その重大さを人々は認識しているのでしょうか。

### ○ 見直し要請の陳情を提出

板橋区議会に提出していた守る会の陳情は、ずっと継続審議になっていた結果、先日の方選挙で議会はいったん解散となり、継続審議はご破算となったので、新しく5月27日に出し直しました。ところがまたまた自公議員の反対で不採択にされました。次回の提出は9月だそうです。

7月30日にひとつ出来事がありました、次号で。

## ○ またまた区民無視のやり方 —図書館跡地の利用—

7月22日(月)上板橋の常盤台地域センターで、公共施設の配置検討について板橋区からの説明会がありました。

参加者が10数名というお寒いものでしたが、Nさんが言うように、何を言ってもムダだという諦めが浸透してしまったのかもしれない。13日の広報に載るということでしたが、13日付にも20日付にも載っていなかったように思います。周知徹底していなかったことが大きいのではないのでしょうか。

常盤台住民には中央図書館が平和公園に移転した跡がどうなるのかが問題なのですが、以下のような案でした。

A案「既存建物を除却して活用」  
(活用における機能の例)

- ・ 区民事務所
- ・ 自転車駐車場
- ・ 保育所 等

B案「既存建物を残し、他機能を受け入れ」  
(既存建物で受け入れる機能の例)

- ・ 文書倉庫
- ・ 公文書館 等



私たちが何度も先々代の図書館長の時代から要求してきた「小規模でも良いから図書館を」という意見は全く考慮されていません。

この地から図書館が無くなると、半径2K以内という図書館設置の空白地帯となってしまいます。高齢化が進むばかりの区民にとって、大きなサービス低下です。

高い税金を払ってきたのは何のためでしょう。「緑と文化の輝くまち」とかいう標語は下ろした方が良いのでは?と言いたくなります。

## このひとにインタビュー (5)

常盤台の芥川賞作家 柴田翔 ②

翔さんの妹の杜幾子さんは、やはり二丁目に住んでいた鈴木博之さんと結婚、現在も現代的建築の家にお住まいである。博之さんが長い間「景観を守る会」の代表をしてくださっていた関係で、杜幾子さんのお骨折りにより、「まちづくりニュース」としては永年の願いだっただろう。翔さんへのインタビューが実現したのであった。

入り口のドアの傍に木で作られた上部が丸い窓があって、ピンポンを押すとそれがパカッと開いて奥さんが顔を出し、挨拶を交わしてからドアを開けてくれた。それがまるでハト時計のようで面白かった。お連れ合いは三宅榛名さんで作曲家である。

部屋に入ると、「記憶の街角 遇った人々」からのコピーがそれぞれに用意されていて、常盤台に関する話はそれを元に展開することになり、不勉強な質問者は恥をかかないで済むようになっていた。

今回、「されど我らが日々」で描かれていた学園紛争のことや作品のこと等、折角の機会に、聞くべきことは多かったのだが、常盤台との関係だけに限ったインタビューとなった。

## NHKに登場した食堂

七月二三日の「夢食堂の料理人」は秋田の町の食堂として「キッチンときわ」が登場していました。CGで外に雪など降らせたり、店内にはだるまストーブを置いたり、普段の店にちよつと細工してありました。覗いたこともない調理場も映っていました。店内と同様ピカピカに掃除してあり安心しました。食べ物を扱うお店は清潔第一ですから。

## 参議院選挙

参議院選挙が終わりました。結果の評価は様々で、ひとことではくれないようです。安倍首相が焦っている憲法改正は、ひとまずワンステップ置かざるをえませんでした。来年の衆議院選挙で、本格的な憲法、特に九条の改定について国民の態度が示されることになるでしょう。

しかし、どの調査を見ても、国民の関心は経済政策や年金問題といった切実な生活の問題にあり、平和憲法に手をつけるには不安が大きいようです。

この憲法がアメリカから押しつけられた面があったとしても、戦争にまきこまれないことがいかに良いことか日本国民は実感しているはず。その平和を捨てて、またまたアメリカの言うなりに購入した高い武器を持たされて、殺し合いに参加するでしょうか。こういう民意を正面から受け止めて国の舵取りをして貰わねばなりません。

## 常盤台公園のはなづくり

ヒマワリは丈夫で、いかにも夏の花なので、今回タネで区に支給して貰い、撒いてみました。発芽も良く、楽しみにありますが、タネから開花するまで長いので、矮性ヒマワリの苗を買ってきて少し植えました。こちらはもう開花状態の苗ですが、長雨で蕾が黒ずんでしまいました。

花スベリヒユは松葉ボタンに似て、是も丈夫です。ツメキリバナの異名のとおり、爪でちぎって植えるだけで面白いぐらい直ぐ根付くのです。

今年は長梅雨で、どの花も勢いがなく、枯れないというだけで綺麗に咲いてくれません。雨足が跳ね上げた泥が葉裏について、呼吸ができなくなるのか、萎れてしまうニチニチソウもあります。

そんなじめじめした中でも元氣なのが雑草たちです。本当にたくましい。小さな段階からタネを付け、子孫の拡充を図っています。土の中には無尽蔵に次世代を担うタネが蓄えられています。

日本人も少し見習って少子高齢化社会にならないよう工夫するべきだったかもしれません。

植物は単純ですが、高度に複雑化した人間はただ増えればよいわけもなく、人口が増えるだけ害悪も増加。人間はこの地球を汚染して全滅する未来を予感して、宇宙への進出をはかっているのかもしれない。

